

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム  
2021年度第1回事業審査委員会 議事録

- 1 日時：2021年4月23日(金) 16：00～18：30
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数5名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子

外務省：民間援助連携室 首席事務官 工藤 博（臼井委員欠席につき代理）

学識経験者：堀場 明子（17:15以降、石井委員長へ委任）

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：岩崎 さくら

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第12回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

- (2) 第二号議案：パレスチナ・ガザ人道危機対応（複数年）事業計画書の承認：1事案

<CCP>ガザ地区における脆弱世帯の母子保健事業（後期）

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

事業審査分科会での結果：承認。

事業審査分科会でのコメント：

1. 本事業は、これまで実施してきた複数年（3年）事業の集大成となることから、出口戦略（提携団体のエンパワメント・引き渡し含）をより明確に申請書に記載いただきたい
2. 分科会における委員からの質問事項に対し、口頭で説明した内容を申請書に反映させていただきたい

- (3) 第三号議案：休眠預金等活用事業 2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 在留外国人支援についての承認：16事案

<NPO法人日越ともいき支援会>在留外国人コロナ緊急支援事業

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 在留外国人数第3位のベトナム人に特化し、長年実施してきた支援活動は、技能実習生の困窮状況などを考えると、支援の必要性が高い。
2. 関連する法人との会計体制区別の確認
3. 事業計画に記載されている内容と予算書の整合性の確認

＜北関東医療相談会アミーゴス＞ 医療からほど遠い在留外国人の側に立つ事業  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 医療が届かない方々への支援は必要。長年実施してきた実績は有効と考える。
2. 家賃や医療補助の支給体制の確認
3. 事業計画に記載されている内容と予算書の整合性の確認

＜反貧困ネットワーク＞公的支援を利用できない外国人の相談・居住・医療支援事業  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. これまで行われてきた事業の継続であり、近年の困窮問題への取り組みや活躍などを考えると、政策提言や波及効果などに期待ができる。
2. 別途受付けている寄付金による事業との明確な切り分け
3. ネットワーク組織のため、事業の法人内と参加団体との執行体制や役割分担の明示化

＜移住連・移住者と連帯する全国ネットワーク＞公的支援を利用できない外国人の相談・居住・  
医療支援事業

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 長年在留外国人の支援を行ってきた経験は有効であると考え。
2. 本課題に対して中核的なネットワーク組織がないことが課題であるため、今後を見据え、積極的な活動が期待される。
3. ネットワーク組織のため、事業実施体制と資金の流れの確認
4. 支援者セミナーのより具体的な事業説明

＜北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）＞北海道在住外国人緊急支援プロジェクト

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 北海道の抱える多様な在留外国人問題や面積の広さから、今回の財団の取り組みは評価できる。
2. 食糧支援など、緊急性の高い事業に絞り込んだ事業設計
3. より効果的な食糧支援のロジスティック体制の検討

<ムンド・デ・アレグリア学校>まったなし！南米の子どもたちの教育支援  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. ペルーやブラジル人労働者やその家族の抱える課題への支援は必要である。  
一方、申請法人の決算状況や申請内容を考慮すると、今回は不採択とする。

<社会福祉法人日本国際社会事業団>移住者コミュニティのエンパワメント事業  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 宗教上の理由などで従前より外部からの支援が受けにくい家庭やその女性に特化した取り組みは非常に重要と考える。
2. 申請書に記述されていない緊急性に関するニーズの記述

<青少年自立援助センター>外国人保護者と若者のための就労支援事業  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. コロナ禍において全国に点在する在留外国人に対する、就労などに向けた語学学習の機会が少なくなっている中での、実績のあるプログラムによるオンラインでの教育機会の提供は有益と考える。
2. （主に遠隔地における事業）  
就労支援などのアウトリーチ手法の確認  
語学学習の受講生の確保方法  
対象者のスクリーニング方法の確認

<セカンドハーベスト・ジャパン>在留外国人で困窮されている方への食料支援  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. コロナ禍において、食糧支援は非常に重要であるが、当該法人の決算書を見た場合、今回は他団体に資金提供を行うほうが有益であると考ええる。

＜公益社団法人シャンティ国際ボランティア会＞生活・法的支援による包括的生活安定支援  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 在留外国人が多い豊島区において、公的施策が不足している状況下で、本事業の取り組みは、期間終了後の政策提案などを含めた場合、必要とされる事業と考える。
2. 予算規模の見直し
3. （事業終了後の政策提言等に向け）調査レポートの作成

＜パレスチナ子どものキャンペーン＞コロナ禍の脆弱な多言語コミュニティ支援  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 公的窓口に対応していない言語のコミュニティ発掘は非常に重要な取り組みであり、在留外国人向けのフリースクールの維持も重要と考える。一方、短期間の資金提供期間において、緊急性やニーズの把握が少し弱いため、今回の資金提供には適していないとした。

＜NPO法人日本国籍華人同携会＞フィリピン技能研修性向け日本語教育支援プログラム  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. データベース（より分かりやすい日比辞書）の需要は存在すると考えられるが、今回の緊急性やニーズの詳細な記述がなく、今回の資金提供には適していないとした。

＜日本ペルー共生協会＞みんなは家族！

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 南米からの在留外国人支援の必要性はあることは理解できるが、ニーズに関する記述が少ない点や申請金額と申請団体の財務規模の差が大きく、今回の資金提供には適し

ていないと考える。

<パルシック>飲食店を営む在留外国人への支援

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 対象とする地域における在留外国人への支援ニーズはあると考えるが、短期間の本資金提供期間において、これから支援者を育成する点やニーズ把握がまだなされていない点を考慮すると今回の資金提供には適していないと考える。

<認定NPO法人地球市民の会>九州における少数言語相互扶助システム事業

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 災害が多発する九州地区において、情報が行き届かない在留外国人は存在し、その支援ニーズは想定できるが、現状のニーズ把握状況とシステム開発に投下される予算、定められた期間などを総合的に判断すると、今回の緊急枠での採択は適していないと考える。

<WELGee> DXを牽引する『越境人材』の創出

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：不承認

事業審査分科会での結果：不承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 在留外国人の中での高度人材（いわゆる高い専門性を持つ人材）に対する適切な支援は重要であり、そこにかかる経費も妥当な水準と考えるが、現在の多数の在留外国人への支援が必要な状況から、今回の緊急枠での採択には適していないと考える。

## 5 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症に対する対応指針4（4）に基づく報告（常任）
- (2) ICVAとの連携：飢餓の悪化を防ぐアクションの呼びかけ
- (3) プログラム戦略会議の報告
- (4) ミャンマー避難民キャンプ大規模火災緊急対応」プログラムの立ち上げ【コアチーム】
- (5) 事業審査委員会委員の増員について

## 6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告

- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告
- (7) 共に生きるファンド監査結果報告書

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

2021年度第2回事業審査委員会：2021年5月21日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第3回事業審査委員会：2021年6月24日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第4回事業審査委員会：2021年7月21日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第5回事業審査委員会：2021年8月26日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第6回事業審査委員会：2021年9月24日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室